

君津市バランスシート探検隊 報告書

君津市経営改革推進課
平成29年11月

目 次

1	大塚教授コメント	1
2	君津市の概要	
(1)	君津市の紹介	2
(2)	人口の動向	3
(3)	財政状況	4
3	君津市バランスシート探検隊の取り組み	
(1)	大学生・職員隊員第1回事前勉強会	9
(2)	大学生・職員隊員第2回事前勉強会	9
(3)	高校生隊員事前学習会	10
(4)	結団式・全体説明会	11
(5)	グループ別会議	11
(6)	施設見学	12
(7)	グループ別会議・発表・解団式	13
4	グループ別発表（君津市民文化ホール）	
(1)	メンバー紹介	14
(2)	君津市民文化ホールの概要	15
(3)	発表資料	16
(4)	大塚隊長コメント	23
5	グループ別発表（君津新橋）	
(1)	メンバー紹介	24
(2)	君津新橋の概要	25
(3)	発表資料	26
(4)	大塚隊長コメント	31
6	グループ別発表（中央図書館）	
(1)	メンバー紹介	32
(2)	君津新橋の概要	33
(3)	発表資料	34
(4)	大塚隊長コメント	37

7 グループ別発表（生涯学習交流センター）

（１）メンバー紹介	38
（２）生涯学習交流センターの概要	39
（３）発表資料	40
（４）大塚隊長コメント	46
8 おわりに	47

1 大塚成男隊長コメント

「バランスシート探検隊」とは

君津市バランスシート探検隊 隊長
千葉大学大学院 教授 大塚 成男

近年、自治体は毎年の決算でそれぞれの自治体の実情を示すための新しい資料（財務書類）を作成するようになってきました。そのひとつが、年度末時点での自治体の資産と負債を網羅した「バランスシート（貸借対照表）」です。そして、自治体の今後を考えるうえでは、負債だけでなく、資産も大きな検討課題となっています。

自治体が保有する「資産」の多くは、道路や橋梁などのインフラ資産や、庁舎や学校などの公共施設です。それらは売却することはできませんし、使用料等の収入が得られる施設もわずかです。それゆえ、自治体の資産はお金が見られる「財産」ではありません。資産が多ければ負債が返済できると安心することもできません。むしろ自治体は、保有する資産を活用するための取り組みを続け、それらの資産を今後も使い続けることができるように維持していかなければいけません。古くなった施設・設備を建て替えることも必要です。その意味で、自治体の立場からすれば「資産は負担」なのです。

そして、少子高齢化・人口減少という社会的な変化の中では、自治体が負担できることも限られていきます。新しい資産を建設することが難しくなるだけでなく、これまで建設してきた資産を維持することも難しくなるでしょう。しかし、市民の生活に支障を生じさせることはできません。そこで、自治体が建設してきた資産とはどのようなもので、どのような役割を果たしており、将来に向けてどのような課題があるのかを、実地調査を通じて市民の視点で改めて考えていくことが必要になります。そのために君津市でも「バランスシート探検隊」が立ち上げられました。全国でも6例目の先進的な取り組みです。

君津市バランスシート探検隊は、君津市の市民や高校生、千葉大学の学生、そして君津市の職員有志で構成され、様々な視点から君津市の資産を実地に見学し、その活用方法や今後に向けての課題を検討しました。その活動の成果がこの報告書にまとめられています。この報告書が、君津市民の皆さんの市の資産に対する関心を高め、君津市の将来像を考えるきっかけとなることを願っています。

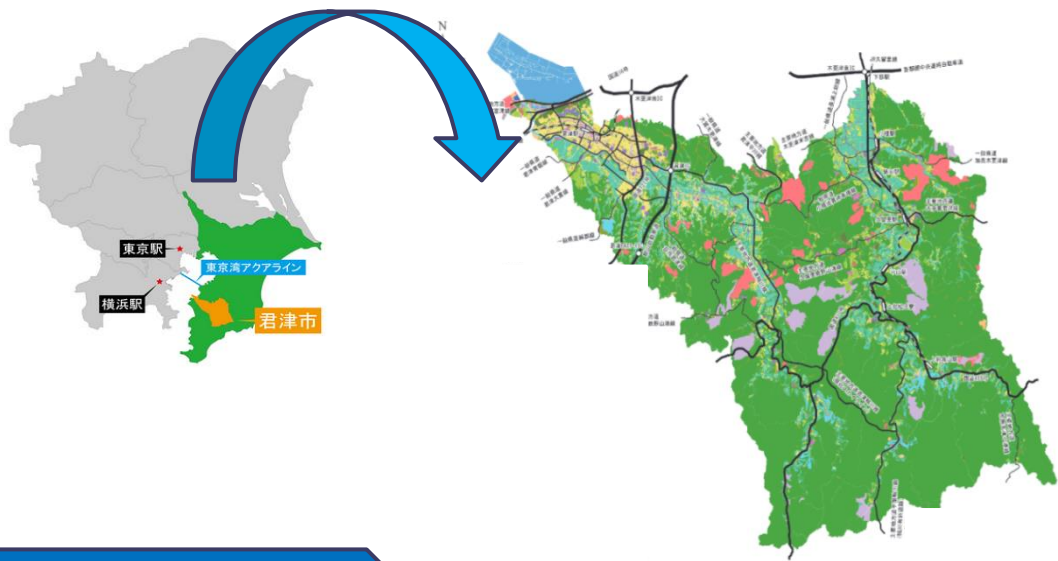
2 君津市の概要

(1) 君津市の紹介

君津市は昭和45年に君津町、小糸町、清和村、小櫃村、上総町の5町村が合併して君津町となり、昭和46年に市制施行し、君津市となりました。県内でも市原市に次いで2番目の広さを誇っています。

また、東京湾アクアラインの開通後、君津市から都心へのアクセスは飛躍的に向上しました。君津バスターミナルから東京駅まで約55分、横浜駅までは約50分で行くことができ、現在では多くの市民が高速バスを利用して都心へ通勤しています。

更に、都心からわずか1時間という距離にありながら君津市は水と緑に恵まれた豊かな自然が残るまちです。緑豊かな山あいを水源とする小櫃川と小糸川流域には優良な農地が広がり、生育には清水が不可欠といわれるカラーの栽培は、日本3大産地の一つに数えられています。



君津市基礎データ

人口	85,837人 (平成29年8月31日現在)
市の面積	318.83Km ² (千葉県内2位)
市の花	ミツバツツジ
市の木	キャラボク

水生カラー生産量

全国 1 位
(平成28年3月末時点)

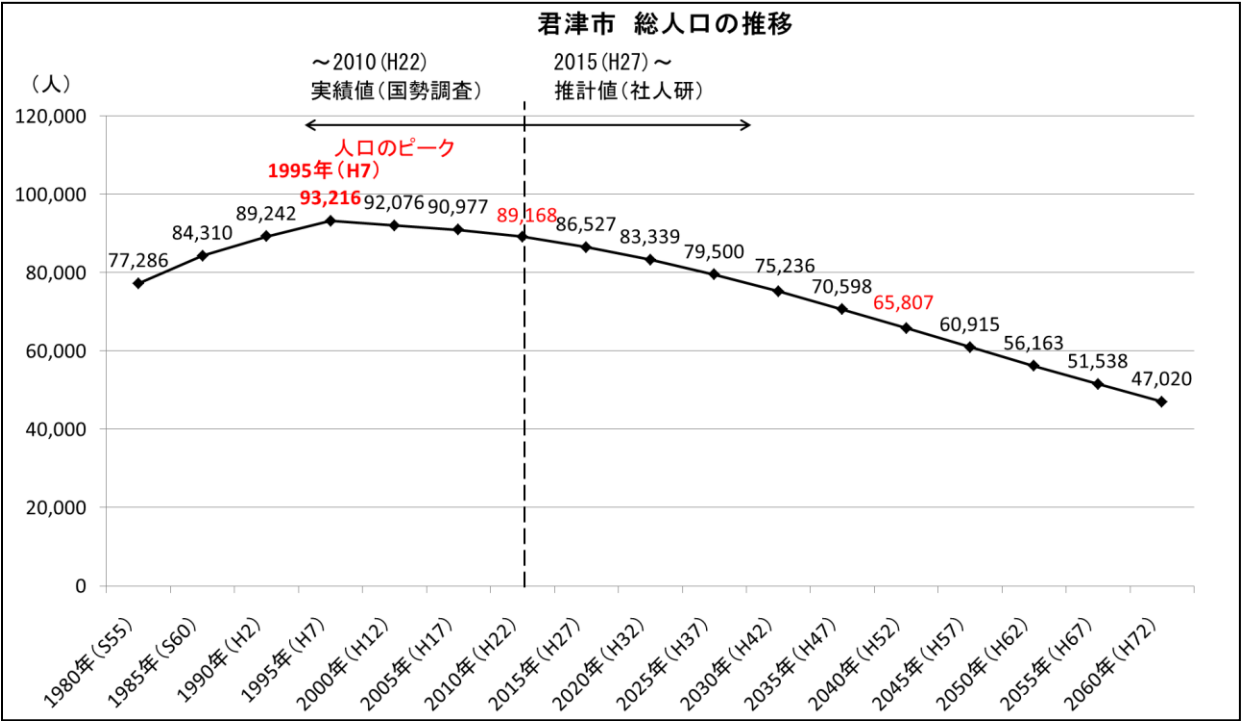
自然薯生産量

県内 1 位
(平成28年3月末時点)

(2) 人口の動向

君津市の人口は、1995年（平成7年）国勢調査の93,216人をピークに減少しており（住民基本台帳人口では1995年（平成7年）の94,008人がピーク）、2010年（平成22年）には89,168人となっています。

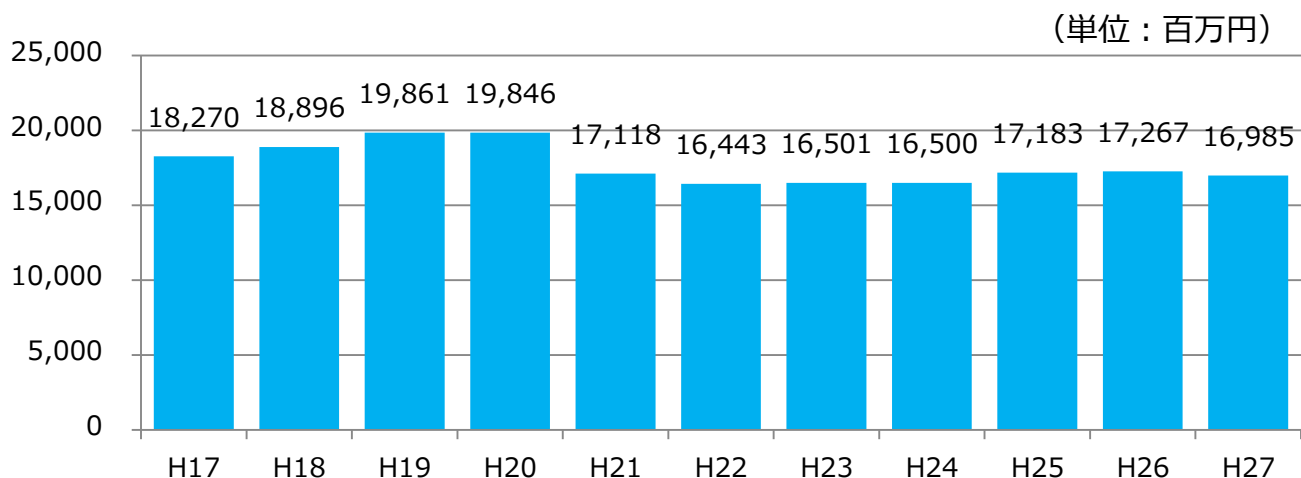
国の資料に基づく人口推計（国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）推計準拠）によると、2020年（平成32年）に83,339人となり、2040年（平成52年）には65,807人、2060年（平成72年）には47,020人（2010年（平成22年）国勢調査人口と比べ42,148人の減）まで減少すると予測されています。



(3) 財政状況

① 歳入の状況（地方税収入）

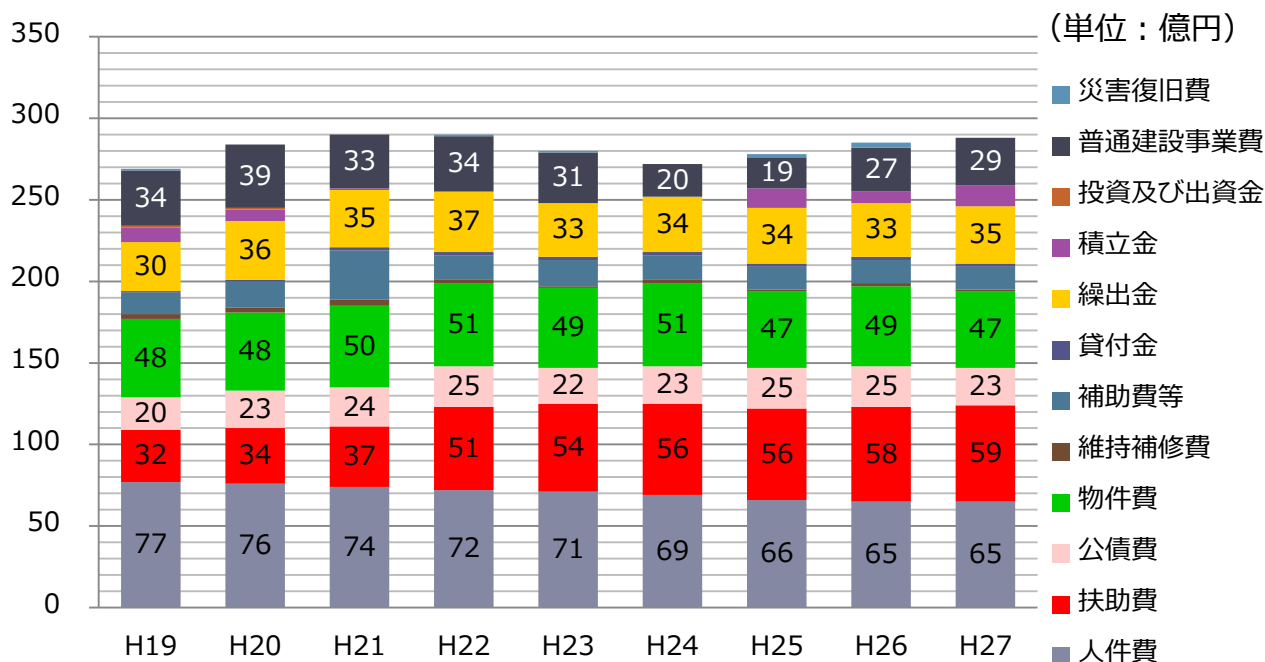
君津市の地方税収入は平成20年度の19,846百万円をピークに減少しており、平成27年度は16,985百万円となっています。平成20年度と平成27年度を比較すると2,861百万円の減少、減少率は14.4%となっています。



② 歳出の状況

人件費は減少傾向にあるなかで、扶助費※は増加しており、平成19年度と平成27年度を比較すると27億円増加しており、約2倍の額となっています。

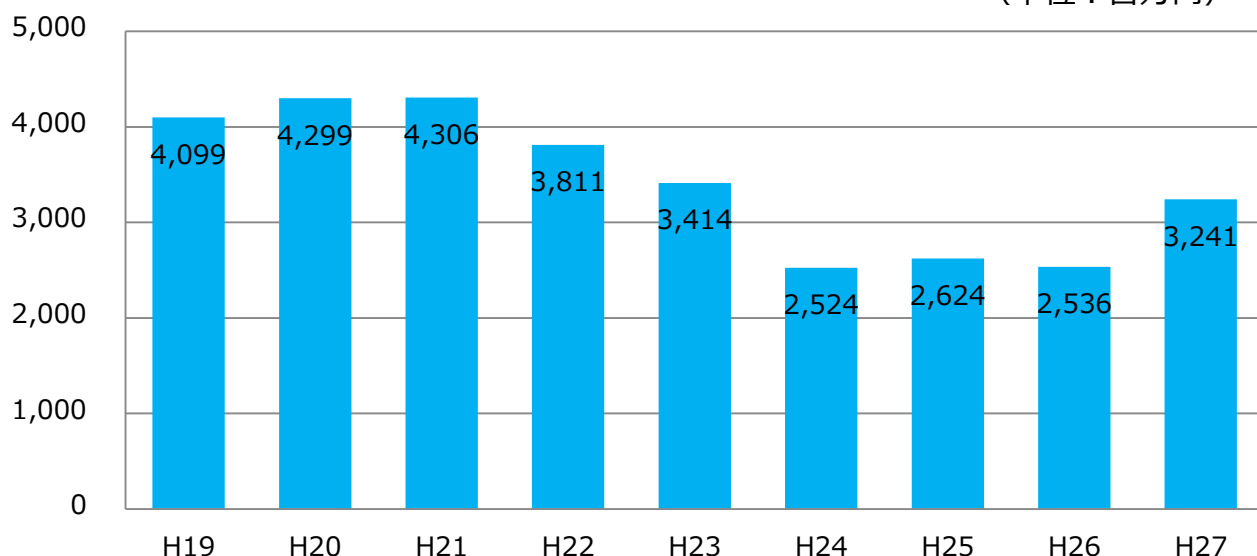
※扶助費 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき、被扶助者に対してその生活を維持するために支出される経費等。



③ 財政調整基金の状況

財政調整基金とは自治体の貯金であり、君津市は平成21年度の4,306百万円がピークとなっています。その後、減少傾向となりましたが、平成27年度から増加に転じています。

(単位：百万円)



④ 平成27年度決算の貸借対照表（一般会計等）

貸借対照表とは年度末時点での資産や負債、純資産の残高を表しています。負債は将来の世代が負担していくもの、純資産は過去の世代や国、県の負担で既に支払いが済んでいるものになります。

(単位：千円)

	一般会計等
固定資産	124,222,795
流動資産	5,614,588
資産合計	129,837,383
固定負債	24,935,853
流動負債	2,752,927
負債合計	27,688,780
純資産合計	102,148,603
負債及び純資産合計	129,837,383

⑤ 平成27年度決算の行政コスト計算書（一般会計等）

行政コスト計算書とは1年間の行政運営コストのうち、資産形成につながらない行政サービスに要したコストを表示するとともに、これらの行政サービスに対する財源として、使用料・手数料などの経常収益を表示しています。

（単位：千円）

	一般会計等
経常費用	28,878,824
業務費用	17,704,027
移転費用	11,174,797
経常収益	1,638,420
純経常行政コスト	27,240,404
純行政コスト	27,240,404

⑥ 平成27年度決算の純資産変動計算書（一般会計等）

純資産変動計算書とは純資産（過去の世代や国・県が負担した将来返済しなくてよい財産）が1年間にどのように増減したかを表示したものです。

（単位：千円）

	一般会計等
前年度末純資産残高	101,695,068
純行政コスト（▲）	▲27,240,404
財源	26,062,140
本年度差額	▲1,178,264
資産評価差額	▲2,106
無償所管換等	1,633,905
本年度純資産変動額	453,535
本年度末純資産残高	102,148,603

⑦ 平成27年度決算の資金収支計算書（一般会計等）

資金収支計算書とは1年間の資金の増減を業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支に区分し、どのような活動に資金が必要であったかを表しています。

（単位：千円）

	一般会計等
業務支出	23,759,619
業務収入	27,902,280
業務活動収支	4,142,661
投資活動支出	3,424,048
投資活動収入	576,754
投資活動収支	▲2,847,294
財務活動支出	2,168,291
財務活動収入	1,492,300
財務活動収支	▲675,991
本年度資金収支額	619,376
前年度末資金残高	1,122,515
本年度末資金残高	1,741,891

3 君津市バランスシート探検隊の取り組み

バランスシート探検隊とは、多くの市民に本市の財政状況を理解してもらうため、財務書類を基に財政状況や公共施設等の現状を調査・分析する取り組みであり、千葉県習志野市が全国で初めて実施した事業です。本市の探検隊は千葉大学大学院の大塚教授を隊長とし、高校生、大学生、市民、市職員で構成されています。



千葉県習志野市
バランスシート博士
(君津市のために習志野市から
来ていただきました。)



君津市バランスシート探検隊
隊長 大塚教授



君津市バランスシート探検隊
副隊長 ホーリーさん

(1) 大学生・職員隊員第1回事前勉強会

〈テーマ〉自治体の資産とは（講師：千葉大学大学院 大塚教授）

〈日 程〉平成29年 5月15日

〈場 所〉千葉大学西千葉キャンパス

自治体の資産や貸借対照表（バランスシート）の意味等について勉強を行いました。またバランスシート探検隊の任務についても確認しました。

資産（公共施設等）を保有するためには、維持管理費や修繕費、また、その公共施設で働く方々の人件費などが必要なんじゃ。つまり、資産は負担なんじゃ！



資産が多い方が余裕があって、お金持ちだと思っていました！資産を保有するためにはいろいろな経費がかかるんだね。



(2) 大学生・職員隊員第2回事前勉強会

〈テーマ〉君津市の現状、公共施設等総合管理計画について（説明者：君津市職員）

君津市の財政状況（講師：千葉大学大学院 大塚教授）

〈日 程〉平成29年7月3日

〈場 所〉千葉大学西千葉キャンパス

市の職員から君津市の人口推移や財政状況、公共施設等総合管理計画の説明を行い、大塚教授からそれに対する補足説明を頂きました。



君津市は昭和40年代に多くの公共施設等を建設したんじゃない。今後、人口が減少していくことが予測されるなかで、公共施設等の更新、維持、管理が大きな課題になっているんじゃないよ。



(3) 高校生隊員事前勉強会

〈テーマ〉 バランスシート探検隊に関する説明（説明者：君津市職員）

自治体の資産とは（講師：千葉大学大学院 大塚教授）

〈日 程〉 平成29年8月21日

〈場 所〉 君津市役所5階小会議室

市の職員からバランスシート探検隊に関する説明とフィールドワークで見学する施設をクイズ形式で紹介しました。その後、大塚教授が自治体の資産や減価償却費等について説明しました。



君津市内の高校（上総高校、君津青葉高校、君津高校、翔凛高校）の生徒11人がバランスシート探検隊に参加してくれたんじゃ。



高校生には馴染みの薄い会計用語が多いけど、みんな一生懸命勉強しているね！

(4) 結団式・全体説明会（9月25日）

〈場 所〉君津市役所6階601会議室

バランスシート探検隊の隊員、全員が集まり結団式を行いました。その後、市の職員からスケジュールや諸注意について説明を行い、大塚教授から君津市の資産や財政状況等、これまでの勉強会の内容のまとめについて説明がありました。



(5) グループ別会議（9月25日）

〈場 所〉君津市役所6階601会議室

グループに分かれ、翌日の施設見学に向けて打合せを行いました。自己紹介に始まり、財務書類からみる施設の概要や見学時の質問事項等をまとめました。



各施設の老朽化比率や純資産比率、利用者数の推移、稼働率等を分析して施設の特徴や質問事項をまとめたんじゃ。



皆、初対面なのに活発に議論しているね。高校生も自分の意見や考えをしっかりと伝えていたね。

(6) 施設見学（9月26日）

〈場 所〉◆市民文化ホール

◆君津新橋

◆中央図書館

◆生涯学習交流センター

隊員全員で各施設の見学を実施しました。前日のグループワークでまとめた分析を基に各施設担当者に質問しました。



前日のグループ別会議でまとめた財務書類上の特徴と実際に見学して判明した特徴の差異などについて、担当者の方に質問したんじゃ。



普段、入れないような場所も担当者の方が案内してくれたから、皆とても勉強になったね。



(7) グループ別会議・発表・解団式(9月26日)

〈場 所〉君津市役所6階601会議室

グループ別に各施設の財務書類や施設見学の結果を発表用資料にまとめました。その後、グループ別に発表を行い、各発表について、大塚教授から講評をいただき、最後に解団式を行いました。



各グループは「(財務書類等から見る)施設の特徴」、「実際に見学してわかった施設の特徴」、「良い点や現状で市民の役にたっている点」、「改善すべき点や負担になっている点」などについてまとめて発表したんじゃ。



皆、短い時間で発表資料をよくまとめたね。高校生と大学生を中心に立派に発表していたよ！



4 グループ別発表（君津市民文化ホール）

（1）メンバー紹介



※宮崎俊介隊員は写真撮影時に不在。

No	氏 名	備 考
1	高保 ユカリ	高校生隊員
2	村上 達哉	高校生隊員
3	宮崎 俊介	高校生隊員
4	中村 拓巳	大学生隊員
5	早川 美有	大学生隊員
6	平田 悦子	市民隊員
7	金綱 星児	職員隊員
8	徳重 由華	職員隊員

(2) 君津市民文化ホールの概要



施設概要	
施設名	市民文化ホール
所在地	君津市三直 6 2 2 番地
運営形態	指定管理者
建築年（代表建物）	1 9 9 0 年
延べ床面積	8,792㎡

平成 2 7 年度末君津市民文化ホール貸借対照表（単位：千円）

建物	3,615,300	固定負債	0
減価償却累計額	▲2,403,526	流動負債	0
土地	547,173	負債合計	0
		純資産	1,758,947
資産合計	1,758,947	負債・純資産合計	1,758,947

平成 2 7 年度歳入コスト情報（単位：円）

使用料手数料	2,9700,749
その他	6,230
合計	29,706,979

平成 2 7 年度歳出コスト情報（単位：円）

人にかかるコスト	0
物にかかるコスト	317,458,553
その他コスト	0
合計	317,458,553

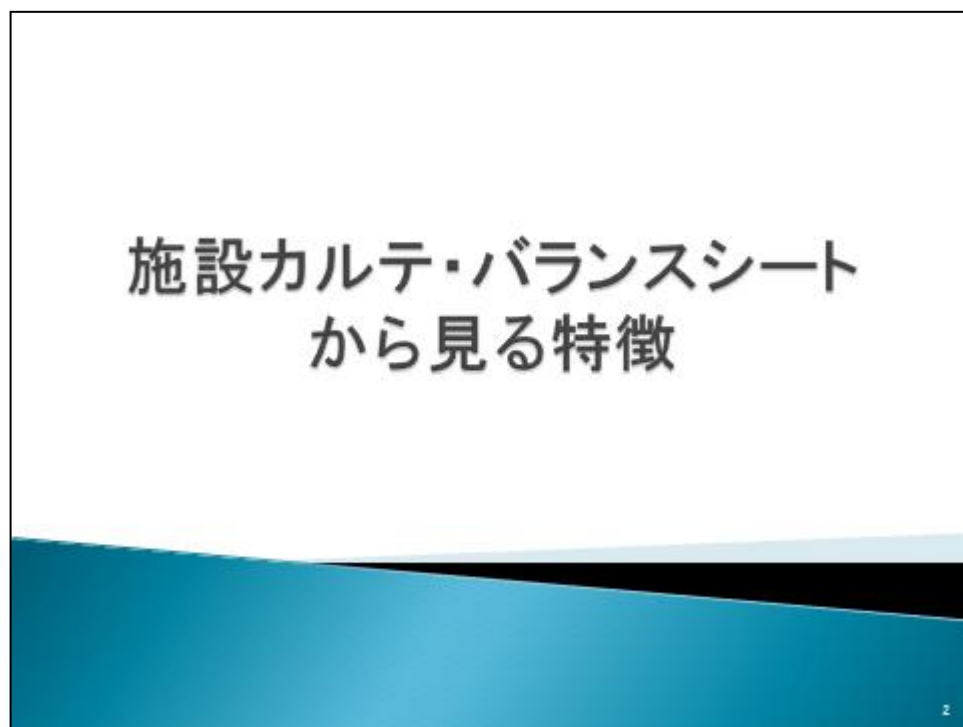
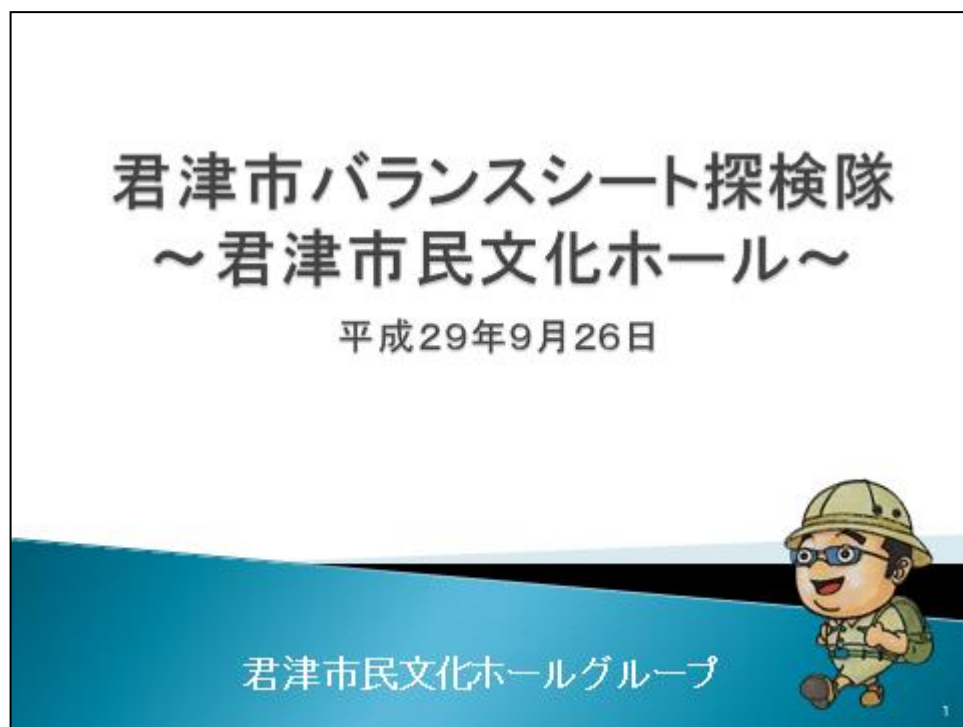


なぜ、人にかかるコストが0円なんだろう？
また、大ホールと中ホールには何人ぐらい人が入るんだろう？

「指定管理者制度」といって、外部団体に管理を代行させており、ルール上そのコストは物にかかるコストに計上することになっているんじゃないよ。また大ホールの収容人数は1,200人、中ホールは502人じゃ。近隣市の中で唯一、1,000人以上収容できるホールを所有しているんじゃないよ。



(3) 発表資料



カルテを見て・・・

- ▶ 将来の負担が少ない
- ▶ 指定管理者
- ▶ 稼働率が高い
- ▶ 利用者の増加⇒赤字
- ▶ 収容者大ホールは1000人越え
- ▶ 恒久的にある施設だが借地

3

実際に見てみて

4

実際に見てみて

- ▶ 施設規模が過剰
- ▶ 採算が取れない
- ▶ 利用者が限定されている

- ▶ 文化価値のある資産が保管されている
- ▶ 施設設備が充実している
- ▶ 幅広い世代で利用されている

5

良い点・現状

～市民に役立っているところ～

6

良い点・現状

- ▶ 立地条件が良い
多目的に利用できるため…
- ▶ 市民の文化活動の推進に役立っている
- ▶ 市内で質の高い文化や芸術を提供できる

7

立地条件が良い



8

良い点・現状

- ▶ 立地条件が良い
多目的に利用できるため…
- ▶ 市民の文化活動の推進に役立っている
- ▶ 市内で質の高い文化や芸術を提供できる

9

改善すべき点

～負担になっている点～

10

改善すべき点

- ▶ 採算が取れていない
- ▶ 修繕費が高い
- ▶ 施設規模が過剰
 - ・光熱費が過大
 - ・使い勝手が悪い
- ▶ 利用者が限定される
- ▶ 借地料が生じている？
- ▶ 客席のエレベーターがない

11

よりよくするための方策

12

よりよくするための方策

- ▶ エレベーターを作る
- ▶ 今使っていない人たちへの事業展開
- ▶ 市外料金の見直し



ご静聴ありがとうございました。



(4) 大塚隊長コメント

市民文化ホールは今回見学した4つの施設の中で一番コストが掛かっている施設です。指定管理者制度を導入している施設なので、人件費は0円となっていますが、その分、指定管理者にかかるコストは物件費に計上されています。この部分のコストの内訳が分かりづらいので、今後、市は内訳について分析を進める必要があります。また、グループの発表の中に施設規模が過剰とありましたが、どの部分がどのように過剰なのか、もう少し踏み込んで分析することが必要です。今後、市民文化ホールを継続的に使用していくために、どのように使っていけばよいのかも考える必要があります。



5 グループ別発表（君津新橋）

（１）メンバー紹介



※野村有子隊員は写真撮影時に不在。

No	氏 名	備 考
1	三浦 なつき	高校生隊員
2	萩原 駿行	高校生隊員
3	薮田 拓太郎	大学生隊員
4	山田 啓介	大学生隊員
5	斉藤 みどり	市民隊員
6	石井 悠太	職員隊員
7	會澤 直也	職員隊員
8	野村 有子	職員隊員

(2) 君津新橋の概要



施設概要	
施設名	君津新橋
所在地	君津市壱師463番地先
運営形態	直営
建築年（代表建物）	1973年
橋長	68.3m

平成27年度末君津新橋貸借対照表（単位：千円）

建物	626,914	固定負債	0
減価償却累計額	▲584,021	流動負債	0
		負債合計	0
		純資産	42,893
資産合計	42,893	負債・純資産合計	42,893

平成27年度歳入コスト情報（単位：円）

使用料手数料	0
その他	0
合計	0

平成27年度歳出コスト情報（単位：円）

人にかかるコスト	0
物にかかるコスト	20,454,757
その他コスト	0
合計	20,454,757

平成20年度に橋を支えているPC鋼棒が破断しているのが発見されたんじゃ。その日のうちに通行止めを実施して、国や県の機関と協力して修繕したんじゃよ。今後は予防保全型の管理が大切なんじゃ。



国内でも珍しい構造の橋だから修繕も大変だったんだね。職員の方がこの君津新橋そのものが維持管理の象徴と言っていたよ。



(3) 発表資料

バランスシート探検隊

～君津新橋～

平成29年9月26日

メンバー

- ・ 斉藤 みどり（市民）
- ・ 薮田 拓太郎（千葉大学）
- ・ 山田 啓介（千葉大学）
- ・ 萩原 駿行（翔凜高校）
- ・ 三浦 なつき（上総高校）
- ・ 野村 有子（職員）
- ・ 會澤 直也（職員）
- ・ 石井 悠太（職員）

私たちの提案 ～君津市内の橋全体を考えて～

- 安全管理・保全のために十分な点検体制（必要なコスト）
- 交通量をもとに橋の数を減らして口スカットを考えないといけない

数値でみる特徴

- 1973年に建設。
- 重要路線である北子安貞元線の一部
- 資産42,893千円 負債0円 純資産比率100%
- 老朽化比率93.2%
- 2009年に大規模修繕を実施。修繕中は通行止め。
（耐震補強工事25,914千円は資産計上）
- 2012年の点検ではA判定
- 2014年の点検ではひび割れ（大きな問題なし）

見学してわかった特徴

- 外観
改修後のため老朽化率が高いとは思えない
サビなどは見られない
- 交通量 (9/26)
5 分間(10:33~10:38)
車 5 5 台
自転車 1 台
歩行者ゼロ



見学してわかった特徴

- 橋の下
白華 (エフロレッセンス)
→原因は不明
ひび割れ (10ヶ所以上)
→問題は無いとのこと



白華の原因は漏水等の可能性があるけど現在、調査中なんだって。また、ひび割れには問題が無いものや経過観察が必要なもの等、いろいろあるんだね。

職員に聞いてわかったこと

- 改修工事中は車両は通行止めをしたが歩行者は通行可能（車両通行の衝撃回避のため）
- 橋が築後100年もつように補強工事を行い、今後も補修も進めていく
- 事後保全から予防保全管理として国の法律で5年に1度の点検。加えて毎年職員が目視で点検を行っている（隠れた**ヒトのコスト**）。
- 君津新橋と松前橋の間に橋をかけてほしいという市民の要望があったが現場までは下りてない
- ひび割れくらいでは修繕はしていない



ひび割れにはいろいろと種類があって、修繕が必要なものは早急に対応しているよ。

君津新橋の役立ち

迂回路
幅が狭く通りにくい
歩道なし

君津新橋
※歩道あり

- 車両の通行は多く、中学生の通学路としても利用されている重要路線
- 職員にとって、君津新橋そのものが維持管理の「象徴」
- 税金の使い道としてロスはな

私たちの提案

～君津市内の橋全体を考えて～

- 施設カルテに載らない「ヒトのコスト」（目視点検をする職員、研修の機会）が存在している。

- 原因不明な現象への調査も必要。

→安全管理・保全のために十分な点検体制（必要なコスト）

- 市内には215個の橋がありすべての橋の維持管理には経費が必要。

→交通量をもとに橋の数を減らしてロスカットを考えないといけない

(4) 大塚隊長コメント

君津新橋は今回の対象施設の中で唯一のインフラ施設です。担当グループが施設見学を行っている間に交通量調査を行ったのは良かったと思います。その交通量調査によると、5分間で車が55台、自転車が1台とかなり交通量が多い橋だと分かります。2009年に修繕を行った際は通行止めにしたということですが、今後はそのようなことが発生しないような管理が必要となります。また、グループ発表の中で交通量を基に橋の数減らす検討が必要とありましたが、不要と判断された橋は安全上そのままにすることができません。取り壊しが必要となります。今後、公共施設等を維持するためには、そのような点も考慮する必要があります。



6 グループ別発表（中央図書館）

（1）メンバー紹介



No	氏 名	備 考
1	沖崎 雄飛	高校生隊員
2	島田 萌	高校生隊員
3	加藤 彩乃	高校生隊員
4	黒澤 裕人	大学生隊員
5	藤川 英生	市民隊員
6	村林 美代子	市民隊員
7	鈴木 大介	職員隊員
8	開田 雅典	職員隊員

(2) 中央図書館の概要



施設概要	
施設名	中央図書館
所在地	君津市久保 2 - 1 3 - 3
運営形態	直営
建築年（代表建物）	2002年
延べ床面積	4,528m

平成 2 7 年度末中央図書館貸借対照表（単位：千円）

建物+車両	1,900,763	固定負債	147,624
減価償却累計額	▲497,858	流動負債	39,713
土地	106,036	負債合計	187,337
		純資産	1,321,604
資産合計	1,508,941	負債・純資産合計	1,508,941

平成 2 7 年度歳入コスト情報（単位：円）

使用料手数料	721,354
その他	362,159
合計	1,083,513

平成 2 7 年度歳出コスト情報（単位：円）

人にかかるコスト	101,440,697
物にかかるコスト	133,232,362
その他コスト	3,051,406
合計	237,724,465



中央図書館には本が何冊ぐらいあって、他の市と比べると多いのかな？少ないのかな？

中央図書館には432,673冊あって、君津市全体では523,085冊あるんじゃ。市全体の本の数を近隣市（木更津市、袖ヶ浦市、富津市）で比較すると君津市は袖ヶ浦市に次いで2番目に多いんじゃよ。



君津市バランスシート探検隊 ～中央図書館～

平成29年9月26日

中央図書館グループ

施設の分析

- ▶ 蔵書冊数(中央図書館は432,673冊)が多くあり、また、多くの事業を実施しているにも関わらず、利用者数及び貸出冊数は減少傾向にある。
- ▶ 視聴覚室(収容人数は約160人)や多くの会議室があり、施設規模が大き過ぎるのではないか。
- ▶ 耐用年数に比べて施設はまだ新しい。
- ▶ 正規職員以外の職員も多い。
- ▶ 施設が新しいにも関わらず、スロープや障害者用駐車場が無い。(AEDの設置場所も分からない)

施設を見学して分かった施設の特徴

- ▶ ひまわり号によって、市内の学校や図書館から遠い地域まで、学校の授業に関する本も届けられている。
- ▶ 各世代向けの事業があり、それに関する掲示物がいろいろなところにあった。
- ▶ 図書館が木で作られていて暖かみを感じた。色もカラフルだった。
- ▶ 車いすの人が通路にいても通れるだけのゆとりや、車いすの人にも手の届く本棚の高さであったりと、本棚にバリアフリーの工夫が見られた。また、駐車場も生涯学習交流センターと兼用であり、その意味で障害者用の駐車場も設けられていた。
- ▶ 利用者数の減少の理由は、**Web**サービスの普及によるものが、原因のひとつだとわかった。



3

良い点、市民の役に立っている点

- ▶ 毎週新しい本が納品されている。不要になった本もただ捨てるのではなく、ブックリサイクルを行い有効活用されていた。
- ▶ 周りの人と一緒にできる子供向けの事業や、未利用者の多い30～50歳代男性に向けた日経新聞を読み解く講座など様々な世代のアプローチしている。
- ▶ 環境がよく高齢者の憩いの場になっている。
- ▶ 来館はしていなくても**Web**で利用する人も多くいて、調べ物をするときに役立っている。

4

改善すべき点、負担になっている点

- ▶ 自習室が不足している。会議室が有料で使いづらい。また、3階の自習用の席や読書用の席、会議室が有効活用されていない。
- ▶ 開館時間が短い。
- ▶ 事業が有効に広報されていない。
- ▶ 業務量が多くて職員の人数が多く必要となっている。

5

より良くするための方策

- ▶ 自習スペースを多く作るために会議室を自習室として利用する。
- ▶ 会議室を無料で開放する。
- ▶ ボランティアを活用して開館時間の延長をする。
- ▶ 事業・講座などの宣伝方法を掲示だけではなく、小中学校と連携したり、移動図書館を活用したりする。
- ▶ ひまわり号で老人ホームなど他の場所も回って有効活用する。
- ▶ 孫とおじいさんで読む本コーナーなど子供コーナーとの連携を行う。

6

(4) 大塚隊長コメント

中央図書館は大きなコストが掛かっている施設であり、今回の施設の中でも文化ホールに次いで2番目の大きさになっています。そのようなコストがしっかりと市民の方々の役に立っているのかを調査するのが、バランスシート探検隊の目的の一つです。施設見学の際、施設担当者の説明の中でインターネット上で本の予約が出来るようになったとありましたが、施設の利用方法等は時代によって変化していき、それに伴って評価の仕方も変化していきます。そのような点を考慮して引き続き、コストに見合う活動ができているのか分析を進める必要があります。



7 グループ別発表（生涯学習交流センター）

（1）メンバー紹介



No	氏 名	備 考
1	池田 蓮太	高校生隊員
2	全 ヒョジュン	高校生隊員
3	目良 海都	高校生隊員
4	畑 正有	大学生隊員
5	郭 櫻子	大学生隊員
6	小原 貴子	市民隊員
7	岩崎 紀明	職員隊員
8	中村 亮彦	職員隊員

(2) 生涯学習交流センターの概要



施設概要	
施設名	生涯学習交流センター
所在地	君津市久保 2 - 1 3 - 2
運営形態	直営
建築年（代表建物）	2008年
延べ床面積	2,847㎡

平成 2 7 年度末生涯学習交流センター貸借対照表（単位：千円）

建物	967,181	固定負債	49,680
減価償却累計額	▲137,857	流動負債	31,540
土地	201,292	負債合計	81,220
		純資産	949,396
資産合計	1,030,616	負債・純資産合計	1,030,616

平成 2 7 年度歳入コスト情報（単位：円）

使用料手数料	1,394,102
その他	228,363
合計	1,622,465

平成 2 7 年度歳出コスト情報（単位：円）

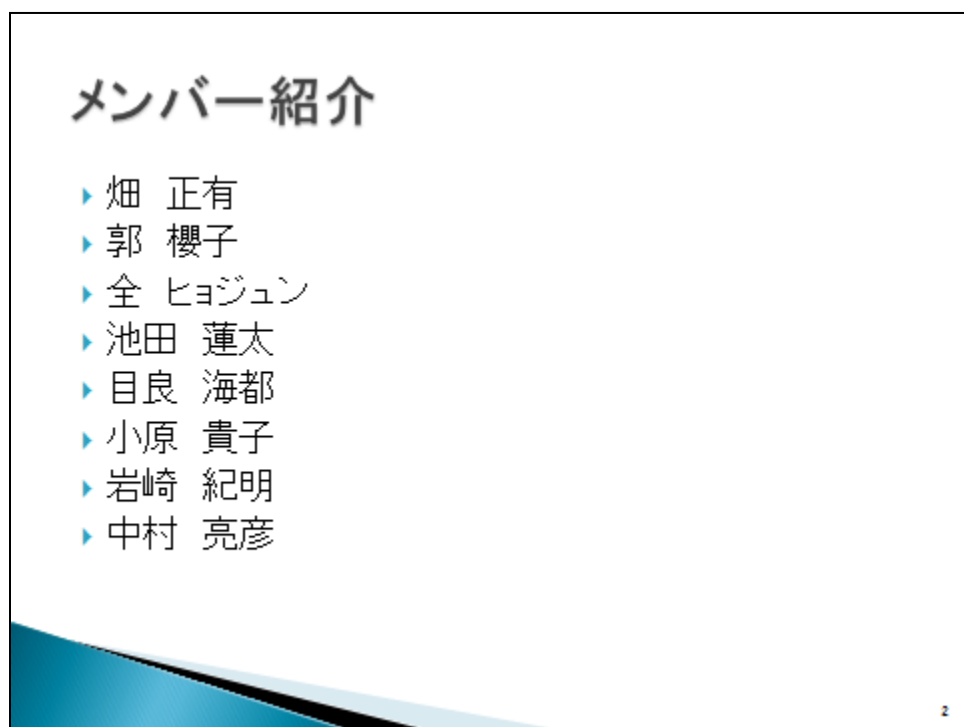
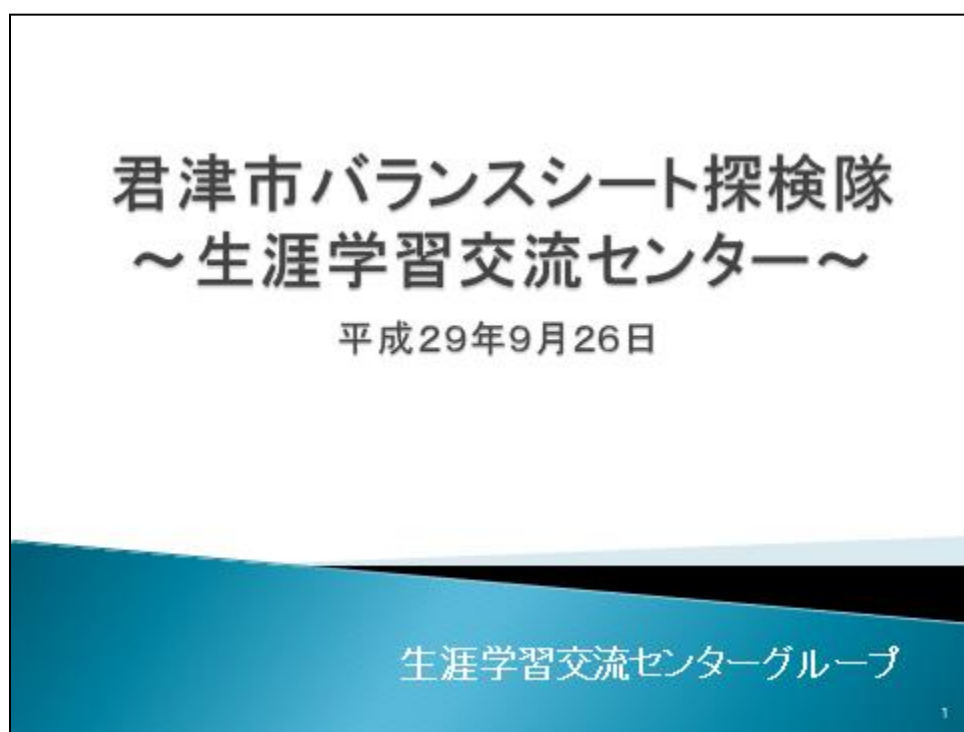
人にかかるコスト	52,500,000
物にかかるコスト	36,855,216
その他コスト	1,171,644
合計	90,526,860

調理室や工芸室といった、専門的な性質を持つ部屋の稼働率が他の会議室と比べると、低くなっているのが課題になっているんじゃ。



専門的な性質を持つ部屋でも会議室としての利用を認めて、稼働率の向上に努めているんだね。

(3) 発表資料



バランスシートから見る施設の特徴

- ▶ 目的は、「市民の相互交流及び自発的な学習活動を促進するため」
- ▶ カルテ通りの職員数であれば適正であると考えられる
- ▶ 各部屋の稼働率が低い
- ▶ 利用者は減少傾向
- ▶ 7年での雨漏り→欠陥の疑い？
- ▶ →マイナスのイメージが先行・・・

3

実際に見学してわかった施設の特徴

- ▶ 施設が豪華
- ▶ 資料(B/S)以上に利用されているように見える
- ▶ ほかの自治体の公民館よりも開館日や開館時間が
多い
- ▶ 若者の利用が少なかった(時間的に?)
- ▶ 親子で遊べる施設が充実していた
- ▶ 主催事業からのサークル活動が多い
積極的な印象
- ▶ →ポジティブなイメージを持つようになった！！

4

実際に見学してわかった施設の特徴

7年での雨漏りは保証の範囲内であった

- ▶ 夜間の利用が少ないことが稼働率の数値の伸び悩みの原因
- ▶ 夜間の利用を積極的に呼びかけている
- ▶ センターと公民館の併用だけど利用者には影響がない
- ▶ ただし、職員の仕事量は倍
- ▶ 職員が積極的に考えている
- ▶ 有料化してもいいと思うが事務費や人件費と比べると？

5

生涯学習交流センターの「役立ち」

- ▶ 知の循環、学びの成果の還元ができるように職員が関わっている
- ▶ 主催事業と公平な施設提供
- ▶ 多くのサークルへの活動場所の提供

6



生涯学習交流センターの「役立ち」

- ▶ 知の循環、学びの成果の還元ができるように職員が関わっている
- ▶ 主催事業と公平な施設提供
- ▶ 多くのサークルへの活動場所の提供
- ▶ 防災室があり防災の拠点になっている



改善すべき点やロス

- ▶ スロープの設置場所が二階につながっている→ロス
- ▶ 職員が会議室がもっと増やしたかった

まとめ



11

(4) 大塚隊長コメント

生涯学習交流センターは中央公民館の側面があるとの説明でしたが、利用者側から考えると、一本化できないのか検討が必要だと思います。現在も実施されていますが、稼働率が低い会議室等については、今後も引き続き柔軟な使い方を行っていくべきだと思います。また、グループ発表の中で当初、財務書類等から分析するとポジティブな印象を持てなかったが、施設見学を実施した後、ポジティブな印象に変わったとありましたが、そのような点が施設見学の目的の一つです。更に、有料化について言及がありましたが、今後、どこまで自治体が負担し続けられるのか等、しっかりと検討を進める必要がある項目です。



8 おわりに

君津市では平成27年度決算から統一的な基準による財務書類を作成していますが、財務書類の活用の一環として今回、本市では初めての試みとなったバランスシート探検隊を実施しました。

実施にあたって千葉大学大学院教授の大塚様や習志野市会計管理者の宮澤様、同市会計課長の関根様をはじめ、君津市内の高校の校長先生や関係者の方々、君津市文化振興財団などの施設管理者、また参加者の高校生、大学生、市民、市職員など多くの方々からご協力・ご助言をいただき、バランスシート探検隊を無事に終了することができました。厚くお礼申し上げます。

バランスシート探検隊の事前学習会やグループ別発表を通じて、事務局や施設管理者の市職員も大変勉強になりました。特にグループ別発表では、市職員では思いつかないような施設利用の改善案や意見等が提案され、多くの発見がありました。

今後はこの報告書などを通じてバランスシート探検隊の活動を広く周知を図るとともに、バランスシート探検隊だけでなく統一的な基準による財務書類の活用を進めてまいります。

【参考資料URL】

○統一的な基準による財務書類（平成27年度決算）

<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/8/109.html>

○公共施設等総合管理計画

<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/8/7348.html>

○施設カルテ

<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/8/7037.html>

君津市バランスシート探検隊報告書

平成29年11月

君津市企画政策部経営改革推進課